

奈良県感染症情報

平成 26 年 第 10 週(3 月 3 日～ 3 月 9 日)
 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報
- 定点把握対象疾患報告状況(2月報)

！！ インフルエンザ注意報発令中 !!

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たりの患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	15.44	(19.43)	↘	↘	↘	→
2	感染性胃腸炎	4.18	(3.38)	→	→	↘	→
3	水痘	0.74	(0.50)	→	↘	↑	↑↑
4	A群溶連菌咽頭炎	0.62	(0.76)	↘	↘	↘	↓
5	RS ウイルス感染症	0.29	(0.32)	↘	↘	→	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

◆ インフルエンザの注意報は継続中！

インフルエンザは、まだまだ流行しており、注意報は継続中です(定点当たりが 10 を下回るまで)。手洗い・うがいの徹底、咳エチケットなど基本的な感染予防に努めましょう。

♥ 風しん・麻しん(はしか)のワクチン接種はすんでいますか？

- ◆ 風しんは、春から流行が始まります。風しんは妊婦が罹患することで、胎児に障害が残ることが最も懸念される病気です。一昨年からの大流行で、流行の中心となったのは大人の男性です。妊娠するのは大人の女性です。**ワクチン接種が急務なのは、大人**なのです。市町村がワクチン接種費用を補助する制度は、今月3月末までです。対象者は、この機会に必ず接種してください。(市町村により対象者が異なりますので問い合わせしてください。)
- ◆ また他府県で、麻しん(はしか)が報告されています。麻しんも風しんと一緒に混合ワクチンが接種できます(MR ワクチン)。麻しんは感染力が強く、年齢にかかわらず命に関わる重篤な感染症です。忘れずに、接種してください。

♣ 小児科外来情報 ♣

北部地区(矢追医院)

インフルエンザの再流行はやっと落ち着いてきました。当院での今シーズンのインフルエンザ検出状況は、1月はAH3、2月中旬はAH1pdm(新型)、2月後半からはB型が主流でした。B型では発病初期に熱発に嘔吐を伴う例が散見されます。

感染性胃腸炎は、乳幼児はほとんど無く10才以上成人でみられます。流行していた溶連菌咽頭炎も沈静化しています。10月から定期接種化が報じられている水痘が増えてきました。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数はインフルエンザの減少とともにやや減少傾向。

インフルエンザはAは激減し、B型が主流となった。症状は軽症経過で微熱や倦怠感のみで数日経過した例もあった。嘔吐、腹痛などの症状を伴う例がやや多く、またタミフル耐性例も少ない印象。

感染性胃腸炎はノロ様例が多いが検査実施のうち陽性例はなかった。ロタはなく今冬は殆ど見られなかった。

RS 気管支炎があり3ヶ月乳児は紹介入院した。

その他水痘、流行性耳下腺炎、A群溶連菌感染症が小流行。

南部地区(県立五條病院小児科)

インフルエンザはさらに減少。A型の減少が目立つため、割合としてはB型が多くなった。

下痢・嘔吐の胃腸炎が散見されたが、迅速検査ではノロウイルス、ロタウイルスは陰性で対症療法で軽症に経過した。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 26 年 第 10 週 3 月 3 日 ~ 9 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	16	郡山	桜井	葛城	内吉野	吉野	
インフルエンザ定点数	55	11	16	11	11	3	3	
インフルエンザ	834	258	219	100	187	13	57	
	(15.44)	(23.45)	(13.69)	(9.09)	(17.00)	(6.50)	(19.00)	
小児科定点数	35	7	10	7	7	2	2	
RSウイルス感染症	10	2	2	5	1			
	(0.29)	(0.29)	(0.20)	(0.71)	(0.14)			
咽頭結膜熱	6	1	1		4			
	(0.18)	(0.14)	(0.10)		(0.57)			
A群溶連菌咽頭炎	21	7	9	2	3			
	(0.62)	(1.00)	(0.90)	(0.29)	(0.43)			
感染性胃腸炎	142	29	56	11	39	3	4	
	(4.18)	(4.14)	(5.60)	(1.57)	(5.57)	(3.00)	(2.00)	
水痘	25	4	6	9	4	1	1	
	(0.74)	(0.57)	(0.60)	(1.29)	(0.57)	(1.00)	(0.50)	
手足口病	1			1				
	(0.03)			(0.14)				
伝染性紅斑	3	1	2					
	(0.09)	(0.14)	(0.20)					
突発性発しん	8	2	2	3	1			
	(0.24)	(0.29)	(0.20)	(0.43)	(0.14)			
百日咳								
ヘルパンギーナ	1		1					
	(0.03)		(0.10)					
流行性耳下腺炎	4	1	1	1	1			
	(0.12)	(0.14)	(0.10)	(0.14)	(0.14)			
眼科定点数	9	1	3	2	2	0	1	
急性出血性結膜炎							-	
流行性角結膜炎	4	2	1		1		-	
	(0.44)	(2.0)	(0.3)		(0.5)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0	
細菌性髄膜炎							-	
無菌性髄膜炎							-	
マイコプラズマ肺炎							-	
クラミジア肺炎							-	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	1		1				-	
	(0.17)		(0.50)					

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核 5件(奈良市2件、桜井1件、葛城1件、吉野1件)
3類感染症	
4類感染症	A型肝炎 2件(奈良市2件)
5類感染症	

❖ 第 10 週のトピックス ❖

「奈良県新型インフルエンザ等対策行動計画」を作成しました(県保健予防課)

http://www.pref.nara.jp/secure/115896/140307_nara_flu_press_sakutei.pdf

＜注目すべき感染症＞2013年第48週～2014年第8週の麻疹発生状況(国立感染症研究所感染症疫学センターIDWR)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/2014-02-19-09-27-24/621-disease-based/a/hepatitis/hepatitis-a/idsc/idwr-topic/4465-idwrc-1408.html>

＜注目すべき感染症＞2014年のA型肝炎の増加 (IDWR)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/2014-02-19-09-27-24/621-disease-based/a/hepatitis/hepatitis-a/idsc/idwr-topic/4436-idwrc-1407.html>

※奈良県でも報告が増えています。

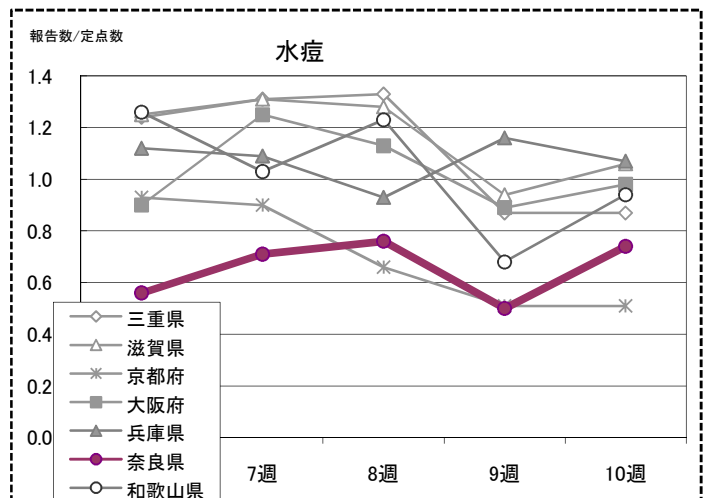
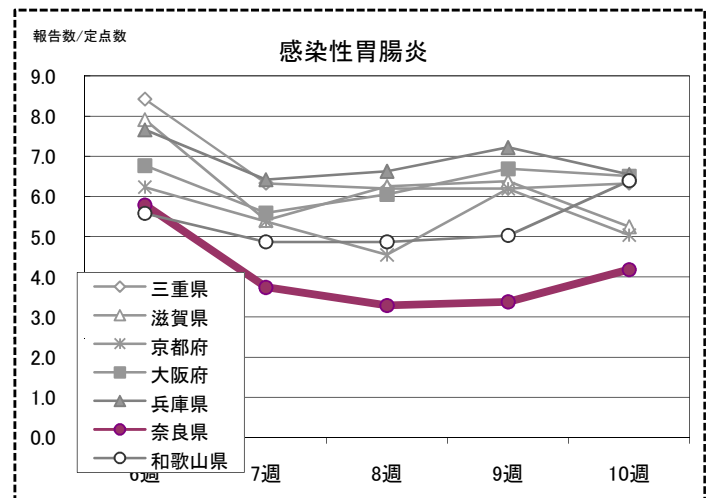
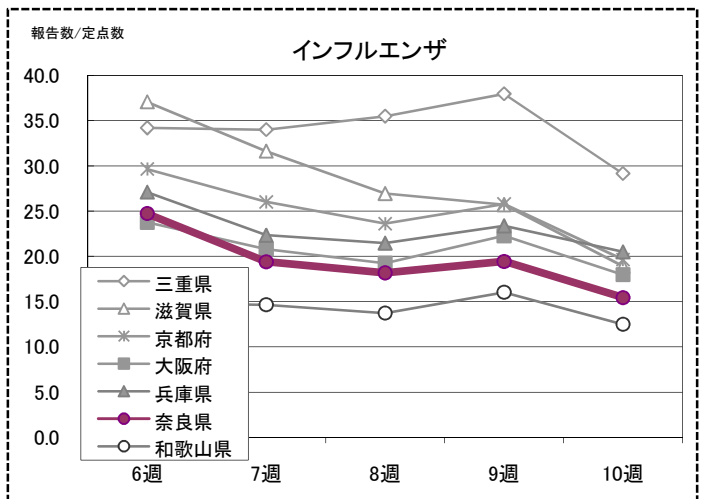
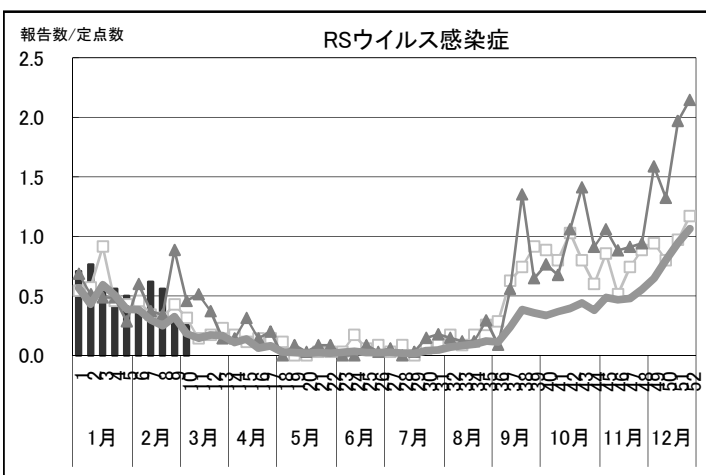
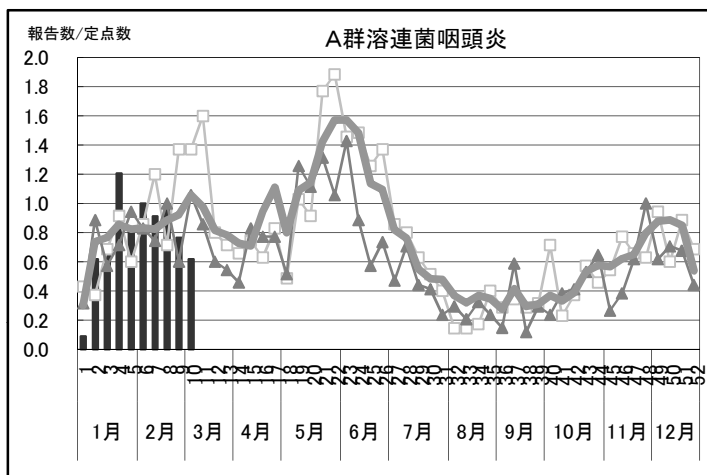
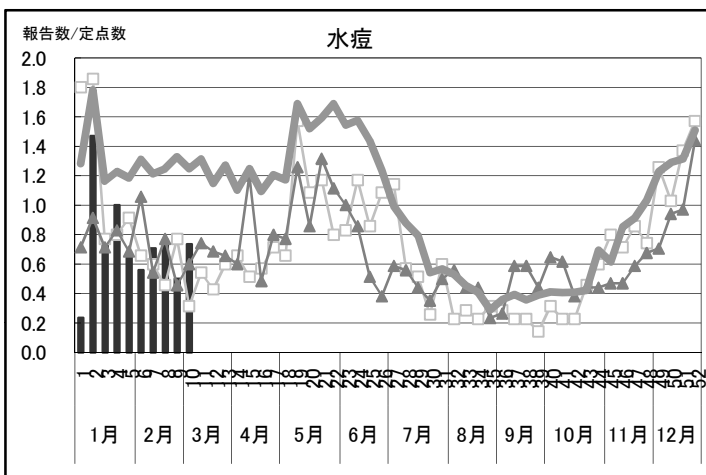
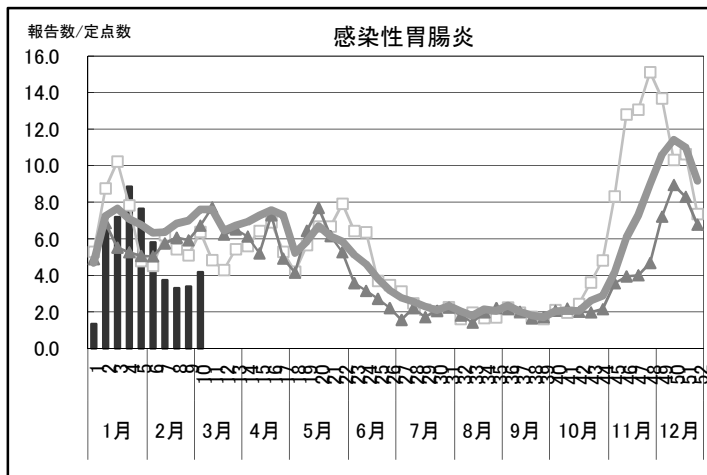
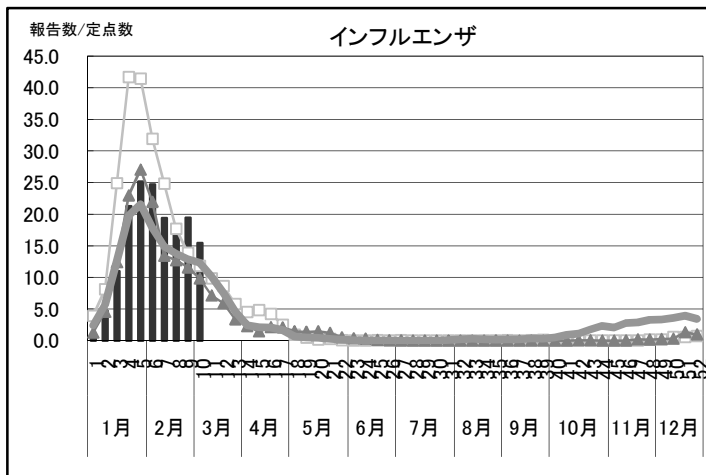
上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男	1	3	8	11	12	12	41	33	37	35	27	110	17	14	19	23	11	8	6	1	429	4263
	女		3	10	13	14	8	36	28	34	28	26	83	14	18	27	28	17	13	6	1	405	4378
RSウイルス感染症	男		3	1				1														5	95
	女		2	2		1																	5
咽頭結膜熱	男		1	2						1												4	48
	女						1		1													2	45
A群溶連菌咽頭炎	男				1	1	3	2			2	2	3									14	134
	女					1	2	1	2		1	1	1									7	127
感染性胃腸炎	男		5	7	6	8	3	6	4	7	5	4	4	3	12							74	916
	女	1	5	6	6	4	5	5	5	2	2	2	8	3	14							68	855
水痘	男			2	2	3	2		1			1	1									12	131
	女		4	1	3		1	1	3													13	121
手足口病	男								1													1	1
	女																						4
伝染性紅斑	男					1		1				1										3	3
	女																						5
突発性発しん	男		3	3																		6	41
	女			2																		2	24
百日咳	男																						
	女																						
ヘルパンギーナ	男					1																1	2
	女						1															2	15
流行性耳下腺炎	男						1	1		1												2	13
	女																						
急性出血性結膜炎	男																						
	女																						
流行性角結膜炎	男														1		1					2	16
	女															1				1		2	17
細菌性髄膜炎	男																						1
	女																						1
無菌性髄膜炎	男																						1
	女																						1
マイコプラズマ肺炎	男																						1
	女																						
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男	1																				1	4
	女																						3

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H26 ▲ H25 □ H24 〰 過去10年平均



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 26 年 2 月

	奈良県						上段：報告数 (下段)：定点当たり報告数 報告数÷定点数														累計は、2014年1月からの累計					
	奈良市	北部 郡山	中部 桜井	葛城	南部 内吉野	吉野	年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-	合計	累計	
性感染症定点数	9	3	2	2	0	0																				
性器クラミジア感染症	8 (0.89)	4 (1.33)		1 (0.50)	3 (1.50)	...	男												2	1					4	9
性器ヘルペス	1 (0.11)				1 (0.50)	...	女														1				1	5
尖圭コンジローマ					男																			1
淋菌感染症	3 (0.33)			2 (1.00)	1 (0.50)	...	女							1		1	1								3	6
基幹定点数	6	1	2	1	1	0																				
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	32 (5.33)	10 (10.00)	14 (7.00)	3 (3.00)	5 (5.00)	...	男	3																	18	37
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	8 (1.33)		6 (3.00)		2 (2.00)	...	女																		8	22
薬剤耐性緑膿菌感染症						...	男		1																7	12
薬剤耐性アシネトバクター感染症						...	女																		1	3

❖ 対象疾患の動向 ❖ 全て報告数

